

(様式1)

令和3年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 046	提案機関名 小田原市漁業協同組合
要望問題名 陸上生簀を活用した活魚蓄養技術の開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 【背景】 当漁協は、定置網漁業が主幹漁業ですが、大漁時は価格下落が著しいため、蓄養水面での蓄養出荷に取り組んでいます。さらに、昨年、荷捌き施設内に陸上生簀を設置し、高級魚を中心に短期蓄養による出荷を始めました。しかし、数種類の魚介類を順次蓄養するため、魚種によっては魚病の発生や魚体の衰弱、給餌方法、適切な蓄養期間など不明なことが多く手探りの状態で進めているのが実態です。 【内容】 陸上生簀を活用した魚介類の蓄養技術については、すでに他地域では確立されている部分があると思います。それらの技術を組み合わせ、小田原の地域に適合した蓄養出荷モデルを開発していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター    ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	相模湾試験場
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	陸上生簀を活用した魚介類の蓄養技術については、他地域での知見や先進事例等の情報を収集し、現場で対応できる方法、また、小田原で実施可能な魚種等を小田原市漁協と共に検討し、地域に適合した蓄養出荷モデル構築を検討していきたいと思っております。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			